

## 第2回協議会において協議していただきたい論点

木本・紀南両高等学校の活性化にかかる令和2年度の主な取組の  
成果と課題について

### 【論点】

「令和3年度に注力すること」を参考に、より両校が活性化を目指すために、学校および地域として出来ることは何か。

紀南地域の県立高等学校の今後のあり方について

### 【論点】

中学校卒業生数が減少していく中、令和7年度には木本・紀南両高等学校への進学希望者が合わせて5学級程度になることが見込まれる。そのとき、5学級をどのように配置し、どのような学びの形態をとることが望ましいか。